



**山形県木材産業協同組合**

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
 URL:http://www.mokusankyō.com  
 E-mail:yamawood@mokusankyō.com

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 目 1 第 1 回役員会を開催！       | 5 新組合員の紹介    |
| 2 地域材利用推進協議会を開催！       | 6 製材・チップ工場調査 |
| (木造住宅等木材利用拡大支援事業がスタート) | 7 トピック       |
| 3 木材利用ポイントの状況 (3 月期等)  | 8 3 月期住宅着工状況 |
| 次 4 労災保険率の改定           |              |



**1 第 1 回役員会を開催**

4 月 22 日、山形市内にて標記役員会を開催したところ、理事長以下 14 名が出席し、平成 27 年度総会上程議案や同日開催される木産協創設 40 周年記念式典等について検討協議した。

(1) 平成 27 年度通常総会上程議案について

事務局より提案された内容について慎重審議の上、原案通り承認された。

ア 日時：平成 27 年 5 月 20 日(水)14 時～16 時頃

イ 会場：ホテルメトロポリタン山形

ウ 議案：平成 26 年度実績、平成 27 年度計画、役員改選等

(2) 木産協創設 40 周年記念式典について

事務局より提案された内容について慎重審議の上、原案どおり承認された。

ア 日時・会場 総会と同日、16 時頃～19 時半頃

イ 内容 ① 表彰(現在、知事賞候補 8 名、理事長賞候補 5 名)

② 講演会 演題「木材産業を巡る状況(仮題)」

講師 全木連副会長 島田泰助氏(元林野庁長官)

③ 懇談会 同ホテル会場(17 時半～19 時半頃)

(3) その他

県の公共建築物等への納材について木産協が窓口になる提案がなされ、今後時間をかけて検討をしていくことになった。(会田悦陸理事提案)

**H27 木産協通常総会に出席しよう!!**

**私たちの組合です。組合活動の取り組み方向や予算・決算等を知る必要があります。経営者自らが都合がつかなくとも、ご家族や職員の方に委任する方法もあります。40 周年記念式典もあり、御来賓や賛助会員も多数ご出席します。木産協 150 名が全員出席して、総会、記念式典を盛り上げましょう。**

## 2 山形県地域材利用推進協議会を開催！

4月30日、山形市内催事場において、標記推進協議会が開催され、木材、設計・施工業界の委員15名が出席し、事業の進め方等を確認した。(国、県のアドバイザーも出席)

この事業は、平成26年度補正予算により、木材利用ポイントの後継事業として創設されたもので、理事会の決定の下に、1月末に林野庁に計画を提出し承認及び交付決定を受けていたものであり、ようやくスタートする運びとなった。

内容は、木材供給側と需要側が共通の認識の下に、県民の皆様に対し、大型ショッピングセンターでの木製品の常設展示や、親子を対象に森林・加工場、住宅建築関係のバスツアー、地域材等の魅力を紹介する新聞広告及びTV番組の製作・放映等を通して、地域材利用拡大の普及啓発に取り組むものである。知事が「森林ノミクス」宣言の下に、バイオマス発電や集成材工場の誘致及び大規模木造公共施設等の取り組みを進める一方で、業界団体としても、木造住宅、木製品をはじめとした、身近な木材の利活用について、きめ細やかな普及啓発を実施し、県民の意識の向上及び関係事業体の自律的取組の強化を目指すものである。

協議会の会長には、県木産協の沖田理事長が、副会長には県産木材利用センターの安部理事長及び県建設労働組合連合会の三浦委員長が就任した。

また、普及啓発関係予算としては、破格の2600万円の交付決定を受けており、本年10月末までに、完了する必要があることから、組合員各位のご協力をよろしくお願い致します。取り組み内容の詳細については、木産協だより等で順次紹介していきます。



	出席者 所属団体	出席者職・氏名 (敬称略)	摘要
1	山形県木材産業協同組合	理事長 沖田純夫	会長
2	山形県森林組合連合会	代表理事専務 太田純功	
3	やまがた県産木材利用センター	理事長 安部政昭	副会長
4	山形県建設労働組合連合会	書記長 井上朋行	副会長
5	一般社団法人山形県建設業協会	専務理事 宮部保夫	
6	一般社団法人山形県建築士会	会長 平吹和之	
7	一般社団法人山形県建築士事務所協会	常任理事 石山徳昭	
8	NPO 法人やまがたの木・住環境共生ネットワーク	専務理事 大高勇司	監査
9	置賜地材地住ネットワーク	会長 井上 南	
10	(協)山形の木乾燥センター	副理事長 黒沼亨二	
11	金山杉住宅をつくる会	事務局長 杉井範之	
12	庄内の森から始まる家づくりネットワーク鶴岡田川	会長 岩浪春吉	
13	庄内の森から始まる家づくりネットワーク酒田飽海	会長 金内勝彦	
14	大江町型住宅販売会	理事 鈴木悦郎	
15	(株)ウンノハウス	代表取締役社長 後藤修一	
16	(株)沼澤工務店	代表取締役 沼澤貞義	

※ 委員からの意見として、地域の普及啓発イベント等で本事業と連携した取組としたいとの意見や期間が短いことから上滑りにならないように留意すべきなどがあった。

### 3 木材利用ポイントの状況(3月期等)

平成25年4月からスタートした、木材利用ポイント事業は、スギ、ヒノキ等の対象地域材を一定数量使用する住宅を建築すると、主に地域農林水産物等と交換できるポイントを付与される他、他の支援制度との併用なども可能であり、本県のような農林県には適した事業であった。現在、ポイント事業は最終場面にさしかかっており、5月6日現在で、残ポイントは6億ポイントを切っている。

本県でも3月一杯で県内窓口業務は終了し、現在の受付は、混乱を防ぐ意味もあり、首都圏にある中央事務局のみとなっている。

3月末時点で、本県での交付件数は1,745件、約5億2500万ポイント(円)となっている。これは、県民一人当たりの取得ポイント数では460ポイント(円)で、全国11位であり、また、圧倒的に多い木造軸組工法での建築件数に対する申請比率で45.87%、全国9位であり、総合的に見ても本県の健闘が光る結果となった。

関係業界各位のご尽力の賜物と御礼を申しあげる。

この取り組みで強化された建築・設計業界との繋がりを、今後の地域材需要拡大に結びつけていく必要がある。

#### (1) 新設戸数に対する交付割合順位

順位	県名	新設戸数 注2)	A+C 交付件数	交付 割合
1	熊本	5,320	3,809	71.60
2	宮崎	4,064	2,751	67.69
3	佐賀	2,747	1,556	56.64
4	沖縄	510	281	55.10
5	大分	2,941	1,432	48.69
6	鹿児島	6,141	2,958	48.17
7	福岡	13,158	6,260	47.58
8	長崎	3,202	1,516	47.35
<b>9</b>	<b>山形</b>	<b>3,460</b>	<b>1,587</b>	<b>45.87</b>
11	宮城	9,335	4,043	43.31
14	福島	7,864	2,830	35.99
18	秋田	3,204	1,111	34.68
22	岩手	4,364	1,324	30.34

#### (2) 県民一人当たりの交付ポイント順位

順位	県名	人口数	交付ポイント 合計	ポイント 数 / 人
1	宮崎	1,120,450	956,025,000	853
2	宮城	2,328,143	1,762,802,000	757
3	熊本	1,801,495	1,359,857,000	755
4	佐賀	839,615	541,582,000	645
5	鹿児島	1,679,848	1,074,840,000	640
6	福島	1,947,580	1,222,087,700	627
7	福井	794,492	426,514,000	537
8	富山	1,076,158	570,022,000	530
9	岩手	1,159,015	576,759,000	498
10	茨城	2,933,381	1,395,586,000	476
<b>11</b>	<b>山形</b>	<b>1,141,260</b>	<b>525,098,100</b>	<b>460</b>
23	秋田	1,050,244	393,067,000	374
41	青森	1,336,155	274,315,000	205

注1)3月末時点の結果であり、趨勢は変わらないと思われるが、最後に多少の変動あり。

注2)国交省資料:該当期間中の木造住宅新設戸数累計(木質プレハブ・2×4工法含まず)

※ 県内でのポイント申請受付は、3月末で終了しました。

※ 4月1日以降の申請先は次のとおりです。(予算が無くなり次第終了となります)

◀郵送先▶ 〒350-1191 川越西郵便局 私書箱76号  
木材利用ポイント事務局「木造住宅、内装・外装木質化」係あて

## 4 労災保険料率の改定について (木材木製品製造業分野)

### 労災の多発から保険料率がアップ!!

### 職場の安全旗は「緩んで」いませんか!!

労働災害保険料率については、平成 27 年 4 月に労災保険の料率改定が予定されている中で、木材・木製品製造業の平成 24 年度の労災保険料収支率が 250%と前年度の 211%から 30 ポイント近く悪化しており、加えて、平成 26 年の死亡災害は 16 人と前年の 6 人から大きく増加し、次回の料率改定が予断を許せない状況になることが予想されることから、7 月にゼロ災運動・リスクアセスメント活動推進ポスター(木材・木製品製造業の事業所掲示用)及びチラシを 1 万枚、末端事業場まで配布した。

11 月 12 日には厚生労働省に対し、「林材業にかかる労災保険料率について負担能力等を考慮した見直しを行うこと」を要望した。

厚生労働省は、12 月 15 日、「労働保険の保険料の徴収等に関する法律施行規則の一部を改正する省令案要綱」を労働政策審議会(会長 樋口美雄 慶応技術大学商学部教授)から厚生労働大臣に対して「厚生労働省案は、妥当と認める」旨の答申を行ったことを公表した。厚生労働省は、この答申を踏まえ、今後省令の制定にむけて作業を進めることとしている。

林材業に係る労災保険料率の改定内容は下表のとおりである。

木材又は木製品製造業は、残念ながら、千分の 1 ポイントの料率アップとなる。

#### ○ 労災保険料率の比較

事業の種類	現行料率	新料率 (平成 27 年 4 月 1 日実施)	増 減
木材又は木製品製造業	13/1,000	14/1,000	1/1,000(107.7%)
林業	60/1,000	60/1,000	据え置き
林業における一人親方	52/1,000	52/1,000	据え置き

#### ○ 木材・木製品製造業の労災保険の概況 (単位 100 万円)

年 度	保険料収納済額	支出総額	収支率	納付率
H 3	23,215	20,084	8 6 . 5	9 8 . 1
1 0	18,269	22,082	1 2 0 . 9	9 5 . 3
1 6	11,059	17,206	1 5 5 . 6	9 2 . 6
2 1	6,324	13,784	2 1 8 . 0	9 0 . 9
2 4	5,249	13,101	2 4 9 . 6	9 3 . 3

○ 本件については、厚生労働省のホームページで公表されています。

[URL] <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou.0000067690.html>

※ 全木連会議の資料を転記してあります。

※ 或る程度慣れた時点での労災発生が多いことから、注意対象等を考慮願います。

※ 全木連の生命共済(災害補償特約付団体定期保険・掛け捨て)に関心のある方は、木産協に問合せ願います。現在 100 名を超す経営者・従業員が加入しており好評です。

## 5 新組合員の紹介

4 月 1 日付けで加入なされた新会員の皆様をご紹介します。

### 1 「株式会社 フォワードさんぜ」

代表取締役 鈴木 正

この度、山形県木材産業協同組合に入会させていただきました誠に有り難うございます。「株式会社フォワードさんぜ」の鈴木正です。鶴岡の三瀬地区(人口 1,500 人)に事務所を置く小さな会社です。この地域は県内のほとんどの地域が抱えている人口減少・住民の高齢化・若者の地域外への流出等・少子高齢化等の問題を何とか解決したいと、5 人の発起人で今年 3 月に立ち上げたばかりの会社です。昭和時代までは山で潤ってきた地域ですが、木材価格の低迷が引き金となり現在の状況に至っています。地域に有る資源を活用して地域を元気にしたいと考え、山にある放置材・雑木等を活用した薪の製造販売を昨年度実験事業として行いました。

今後この事業を一層充実させ、地域起こしの起爆剤にしたいと考えています。山の資源を活用した地域起こしが実現できるよう、会員の皆様から様々ご指導ご助言をいただきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

### 2 「東北ウッドカッター株式会社」

代表 伊藤 信一

この度、山形県木材産業協同組合に入会させていただきました有り難うございます。

弊社の所在地は、最上郡舟形町です。私が林業(素材生産)をはじめて 36 年余りになります。技術の進歩等もあり、学ぶことで目一杯の毎日です。

これまでは個人経営なので、常時 4 名、繁忙期は 6 名程度の作業班を組織し業務を行ってききましたが、業務が増大すると共に人数も必要となってきたことから、法人化に踏み切りました。

自然相手の仕事でもあり、業界を取り巻く状況は厳しいものがありますが、若者たちを育て、同時に自分も勉強しながら頑張りたいと思っています。未熟な会社ではありますが、県木産協の一員として、一層努力したいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

### 3 「樋口林業」

代表 樋口 篤

この度、山形県木産協に加入させていただきました、米沢の樋口篤と申します。

昭和 55 年に独立し、主に広葉樹の素材生産を行っています。他に、育林や針葉樹生産も行っています。

針葉樹については知識不足もありますが、材色、トビ腐れ等、難しい課題があると感じております。今後、ご指導いただくと共に、合板用材や木質バイオマス等についても勉強して行きたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

※平成 26 年～27 年にかけて新規に加入された組合員は、木産協の取り組み等を知って頂くために、是非、5 月 20 日の木産協定例総会にご出席下さい。

## 6 製材・チップ工場の実態調査結果について

昨年 12 月に、県内の製材工場、チップ工場に平成 25 年度の標記調査を依頼しましたところ、主要 84 事業体からご回答をいただきました。誠に有り難うございました。

(調査票送付数 100 社、回答事業体のうち、稼働製材工場は 65 社、チップ工場は 12 社、販売専門が 7 社)ある程度の概要を掴めたものと考えていますが、この結果を活かすには継続した調査が必要ですので、今後も御協力下さいます様をお願いします。以下一部を掲載します。

### (1) 製材品生産量等 (県産材、他県産材、外材製品、平均歩留り等)

#### ア 製材関係

県産材製材品は 69,646m<sup>3</sup> で約 70%、県外産材製材品 26,528m<sup>3</sup> 約 25%、外材製材品 4,350m<sup>3</sup> で約 5%となっている。県外産製材品について大手製材 2 社で約 75%を 2 社で占めており、超大型とか県境に工場がある等の事情によるもので、大半の工場は県産材中心の製材と考えている。また、平均製材歩留り 56%からすると約 124,000m<sup>3</sup> の県産原木を消費していることになる。

#### イ チップ関係

チップ専門の 12 社で生産されるチップは、素材換算で、針葉樹は 41,520m<sup>3</sup> で、広葉樹は約 88,000m<sup>3</sup> である。(チップは歩留り 100%で計算してある。)

### (2) 製材工場等における丸太取扱量

#### ア 製材関係

県産丸太取扱は、針葉樹で、約 170,000m<sup>3</sup> で内 74%が製材用で、125,800m<sup>3</sup> に平均歩留りを掛ける、製品は約 70,000m<sup>3</sup> となり、(1)のアと近い値になる。

#### イ チップ関係

針葉樹の 25%の約 43,000m<sup>3</sup> がチップ加工に回され、ほぼ同数のチップが生産されている。広葉樹は約 60,000m<sup>3</sup> がチップ加工に回されている。(1)イの広葉樹チップとの差は専門の小規模事業体が幾つかカウントならなかったこと等によると考えている。)

### (3) 製材工場における製材品出荷先

傾向としては、製紙用チップ、出荷型工場、県外の工務店などと連携している製材関係に県外出荷が多くみられるが、それ以外は県内工務店等に対して供給する工場数が圧倒的に多い。

### (4) 製材端材の用途別出荷量・出荷先等 (素材換算)

#### ア 燃料用チップ

総数で約 33,000 t、内製材所内チップパーで処理したものは約 10,000 t、燃料チップ専門工場で処理したものが約 23,000 t となっている。大半は針葉樹である。

#### イ 製紙用チップ

素材換算で針葉樹が約 40,000 t、広葉樹が約 50,000 t となっている。内針葉樹は大半が製材工場でのチップ処理であり、広葉樹は大半がチップ専門工場での処理となっている。

#### ウ 家畜敷料

素材換算で約 7,500 t であり、製材によるオガコやバークが大半である。大半が針葉樹である。

#### エ その他

数量的には、約 2,400 t で、ホモボード原料や菌床きのこ培地等となっている。

### (5) チッパーを稼働している事業体の加工量等 (製材及びチップ専門工場)

ア 燃料用：針葉樹約 41,000m<sup>3</sup>、広葉樹約 700m<sup>3</sup> で、計 約 42,000m<sup>3</sup>

イ 製紙用：針葉樹約 50,000m<sup>3</sup>、広葉樹約 72,000m<sup>3</sup> で、計 約 122,000m<sup>3</sup>

現在のチップ生産量は、原木換算で約 170,000m<sup>3</sup>。

### (6) 木質バイオマスの需要や供給にあたっての問題点や可能性

この調査では、需要が拡大している木質バイオマスに関して、どのような対応を考えているかについて感触を探ったものである。

概況的には、製材等を縮小しているところは、従来から、製材端材専門業者に処理を委託しておりその数は半数近くに及んでいること、また少量の端材については自社の熱源に利用しており外部に供給する余力はないところ、現在チップ生産は行っているが設備的に老朽化や小規模のために限度があるとしている所等、中小の製材関係に多い。

一方、チップ業界や大手製材等は、現状でも増産可能としているところが多く、二分するような結果となっている。

### (7) 端材の納入要請について

木質バイオマスの需要拡大に伴い、取引先等からの要請の増減について状況を尋ねたところ、その打診などについて、15%程度は増えているとしているが、70%程度は特に変化がないと答えている。現在、県内の木質バイオマス需要が林地残材等を中心であることや、その搬出支援やバイオマス発電における買取価格制度等も影響しており、製材端材にはまだ、要請が来にくい状況にあるとも考えられる。

ちなみに、鶴岡バイオマス発電に関しては、「間伐に由来する材」を中心に集めているが、計画では製材端材等も集荷することになっており、本年度中に木産協(製材端材等)と供給協定を結ぶ予定である。今後、製材端材に対する要請も少しずつ増加することが見込まれる。

## 7 トピック

### ☆ 酒田臨海工業団地に進出か! 「住商のバイオ発電事業」

「建設山形」平成 27 年 4 月 15 日号に、住友商事等が加わるバイオマス発電事業の記事が掲載され関係者の注目を集めている。

記事は、酒田臨海工業団地に企業進出のための用地造成工事が本格的に着手し、位置は酒田港リサイクルセンターに隣接するエリアで、県は護岸工事の一部を含む造成工事を一括で三月に入札発注しており、H工務店が落札しているという。

これに対して、住友商事側は「ノーコメント」として詳細は明らかにしていないが、関係筋からの話を総合すると、住友商事などが中心に立ち上げるバイオマス発電事業用地らしいとしている。(以上記事)

規模等は不明であるが、全県各地で、バイオマス発電の動きが活発化しており、さらに大手住商が加わると、バイオマス原料が逼迫し取り合いになり、事業継続が困難になる工場も出てくる可能性がある。このようなことから、大量のC・D材等を消費する木質バイオマス発電所の適切な配置について、県等の積極的な関与が必要と考えている。

### ☆ 横山修氏が、西川町町議会議員選挙で当選。(速報)

山形県木材産業協同組合第三者検査機関(JAS 製材)検査員の横山修氏は、4月の統一地

方選の西川町町議会選挙で2回目の当選を果たした。(前回はトップ当選だったが今回は無投票当選) 誠におめでとうございます。氏は林業・木材産業振興の視点から様々な議会活動を展開しており、町内でも若手のホープとして今後も活躍が期待されている。

## 8 3月期の住宅着工状況

3月期は336戸で対前年比△24%、うち持家は278戸で△43%、貸家は62戸で▼32%、分譲は25戸で△78%、木造率93%で前月比△13ポイントという状況となっており、回復の兆しがうかがわれる。これらの結果に一喜一憂することなく、地域材を活用する木造住宅の良さを関係業界あげて地道にPRしていくことが大切。

### 1 県内新設住宅着工戸数(平成27年3月)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
26.1月	234	135	48	34	17	201	33	160	68.4%	120	8	32
2月	362	166	131	23	42	360	2	275	76.0%	194	9	72
3月	295	189	91	1	14	291	4	255	86.4%	204	10	41
4月	431	270	113	9	39	400	31	406	94.2%	353	12	41
5月	349	228	88	7	26	326	23	293	84.0%	229	11	53
6月	529	291	190	0	48	515	14	415	78.4%	290	13	112
7月	364	204	124	1	35	316	48	300	82.4%	212	13	75
8月	361	223	90	3	45	357	4	305	84.5%	245	7	53
9月	377	203	127	0	47	358	19	332	88.1%	223	5	104
10月	395	199	144	3	53	384	11	353	89.4%	227	7	119
11月	465	238	179	2	46	445	20	377	81.1%	261	7	109
12月	388	183	180	0	25	382	6	326	84.0%	194	4	128
27.1月	249	125	74	0	50	248	1	203	81.5%	141	8	54
2月	367	194	124	0	49	364	3	297	80.9%	166	13	118
3月	366	278	62	1	25	363	3	343	93.7%	262	14	67
対前月比	99.7%	143.3%	50.0%	-	51.0%	99.7%	100.0%	115.5%	-	157.8%	107.7%	56.8%
対前年同月比	124.1%	147.1%	68.1%	100.0%	178.6%	124.7%	75.0%	134.5%	-	128.4%	140.0%	163.4%
26.1~当月計	891	490	270	58	73	852	39	690	77.4%	518	27	145
27.1~当月計	982	597	260	1	124	975	7	843	85.8%	569	35	239
対累計前年比	110.2%	121.8%	96.3%	1.7%	169.9%	114.4%	17.9%	122.2%	-	109.8%	129.6%	164.8%

### 2 地域別新設住宅着工戸数(平成27年3月)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
<b>県計</b>	<b>366</b>	<b>982</b>	<b>124.1%</b>	<b>110.2%</b>	<b>843</b>
山形市	57	285	80.3%	101.1%	228
上山市	9	19	450.0%	146.2%	17
天童市	39	99	130.0%	117.9%	83
山辺町	7	17	350.0%	340.0%	17
中山町	7	8	-	800.0%	8
東南村山	119	428	113.3%	111.2%	353
寒河江市	19	50	237.5%	200.0%	42
河北町	6	22	300.0%	366.7%	20
西川町	0	0	-	-	0
朝日町	1	2	100.0%	200.0%	2
大江町	2	2	100.0%	66.7%	2
西村山郡	28	76	215.4%	205.4%	66
村山市	6	22	85.7%	183.3%	22
東根市	24	84	160.0%	127.3%	75
尾花沢市	3	5	-	250.0%	4
大石田町	1	1	-	-	1
北村山	34	112	154.5%	140.0%	102
<b>村山地域</b>	<b>181</b>	<b>616</b>	<b>129.3%</b>	<b>122.7%</b>	<b>521</b>
新庄市	7	8	175.0%	114.3%	7
金山町	0	0	-	-	0
最上町	0	0	-	-	0
舟形町	0	0	-	-	0
真室川町	2	3	200.0%	150.0%	3

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	0	-	-	0
鮭川村	1	1	-	-	1
戸沢村	1	1	-	-	1
最上地域	11	13	137.5%	100.0%	12
米沢市	37	103	132.1%	135.5%	82
南陽市	16	26	133.3%	130.0%	25
高畠町	7	12	350.0%	80.0%	12
川西町	3	4	150.0%	200.0%	4
東南置賜	63	145	143.2%	128.3%	123
長井市	21	26	110.5%	100.0%	17
小国町	3	3	300.0%	300.0%	3
白鷹町	5	6	500.0%	200.0%	6
飯豊町	0	1	-	25.0%	1
西置賜	29	36	131.8%	105.9%	27
<b>置賜地域</b>	<b>92</b>	<b>181</b>	<b>139.4%</b>	<b>123.1%</b>	<b>150</b>
鶴岡市	41	71	97.6%	68.9%	69
三川町	1	5	50.0%	100.0%	5
庄内町	10	14	142.9%	66.7%	14
田川	52	90	102.0%	69.8%	88
酒田市	28	75	116.7%	108.7%	65
遊佐町	2	7	33.3%	22.6%	7
飽海	30	82	100.0%	82.0%	72
<b>庄内地域</b>	<b>82</b>	<b>172</b>	<b>101.2%</b>	<b>75.1%</b>	<b>160</b>

注:累計は平成27年1月～